



きせき

秋草学園高等学校 卓球部通信
令和3年3月12日
第430号



「それって、私たちのため？」

——指導に**自信**が——

一昨年(2020年)の全国選抜大会(福岡)でのこと。朝の集合時間を20分ほど早くしました。そうしたらS選手が「それって、私たちのためですか？」と質問してきました。この時は練習の時間の合間を見て観光を予定していて、出発を早めないとな十分な観光はできないし、練習にも影響が出ると考え出発時刻を繰り上げました。

私たち指導者はたくさんの指示を出します。すべて選手の安全・安心のため、常に時間を無駄にせず、効率の良い練習をして強くするため。ですので、時には細かい指示もあったり、守られない場合同じことを何度も言うこともあります。一般的にうるさい指導者かもしれません。しかし、この選手の質問にはとさせ

られました。私たちは間違っていないと・・・

指導には迷いがつきものです。これで良かったのだろうか？選手は理解できたのだろうか？自信のないことばかりです。この質問ですべて選手たちのための指示だったと少しの自信を持ちました。さてご家庭ではいかがでしょうか？同じようなことは有りませんか？



このメンバーで全国を戦います。

部活動の写真をアルバムにして。

卓球部員の卒業時に3年間の写真をアルバムにして差し上げて9年間は過ぎました。1人100枚以上有り、きっと高校時代の良い思い出になることだろうと続けていますが、今年度は自宅の印刷器の調子が悪く、4、5日かかりました。費用もさることながら労力も負担が多すぎ続けていくことは困難かなと考えています。